

亨と理英子のハーバード便り

第五号

2000年7月

皆様、大変ご無沙汰しております。如何お過ごしでしょうか？日本はもう梅雨明けになり、猛暑が続いているのではないのでしょうか？

我々はケンブリッジに来てから早や8ヶ月あまり経ちました。第4号をお届けしてからもう半年近く経ってしまいましたが、その後のご報告を兼ねて第5号をお届けしたいと存じます。

〈成果〉

この半年あまり、理英子は毎日英語学校に通い、もっぱら英語の勉強をして参りました。お蔭様で日常生活にはほぼ不自由なく英語が使えるようになりました。また英語学校では作文、読解、会話の3部門をそれぞれ毎日1時間半ずつ週に5日間学び、9段階あるクラスの上級まで修了することができました。さらにこのうち一ヶ月はTOFFLE受験のクラスにも参加しましたが、これはかなりきつく一ヶ月で止めました。また韓国、中国、台湾、ラテンアメリカなど多くの国から来た留学生たちと知り合い、お互いの文化の違いや相似についても多くを学ぶことが出来ました。6月末をもって英語学校は修了して、現在はハーバード大学のサマースクールに通っております。ちょっと体調が悪く、やや休みがちではありますが、英語学校とはまた違った授業を楽しんでおります。

亨は所属するハーバード燕京研究所のなかに机をもらい、この半年間毎日研究に集中することができました。日本にいる時の雑事から解放され、研究のみに専念することが出来ました。今年の冬は殊の外寒く、毎日零下5 から10 の日が続く、また昼も短いので、朝9時頃歩いて15分の研究室に出勤して夜は8時、9時まで研究所にいるという毎日を過ごしました。あまりアメリカ社会に接する機会が多くなかったのは少々残念ですが、今後のためには大層よい学問的蓄積ができたと思います。

この半年間に、昨年秋に京都大学プロジェクトで現地調査を行ったブータンとネパールの言語に関する調査報告をまとめました。これは「ブータンの言語状況」と題してまもなく出版される予定です。これに関連して2次に亘るブータンネパール調査旅行の詳しい旅行記録を完成させました。これは当面発表の予定はありませんが、そのうち機会を得て公表したいと考えております。また海外職業訓練協会の依頼で執筆した共著『マレーシアの人々』も現在出版を待つばかりになりました。また、以前から懸案だった14世紀のスマトラで書かれた古典マレー語最古の文学作品『パサイ王国物語』の訳注作業を完成しました。これはトヨタ財団のご援助により、平凡社の東洋文庫シリーズの一環として出版される予定です。14世紀の古典マレー語は極めて難解で、この作業のみに日曜祭日もなく毎

日平均8,9時間をかけて、2ヶ月半ほどで訳注、解説、関連作品の翻訳を完了しました。順調にゆけば来年には上梓される予定です。また東南アジア史とマレーシア史の詳しい教案を完成させました。それぞれA4版で約400-500枚のものです。現在前者をもとにSFC叢書の一冊を、さらに後者の一部をもとに、岩波書店から出版予定の東南アジア史叢書の原稿を執筆中であり、後者は夏休みまでに完成したいと考えております。まだまだやりたい仕事もあり、欲をいえばもう1年ケンブリッジにいらればもっと沢山の仕事が完成させられると思いますが、これは仕方のないことで、1年でも来られただけ運がよかったと思っています。

またせっかく天下の群賢があつまるハーバード大学に来ているのですから、もっといろいろな学者や研究者たちと交流を深めたり、また構内だけでも30近くある図書館の蔵書をゆっくりと眺めたりしたいところですが、そうしていたら上記の仕事は出来なかったと思います。この点はやや残念ですが、まあ「二兎を追うものは一兎を得ず」といいますから、まあこれだけの成果をあげられただけでも満足しなければならぬと思います。

次回はたしてまたハーバードに来る機会があるかどうか、はなはだ心もとないところですが、この一年間の思い出は我々夫婦にとって一生忘れられない思い出となることだけは間違いないと思います。このようなまたとない機会を与えてくださった慶応大学に深い感謝の念を捧げたいと思います。

〈ビッグニュース〉

最後にビッグニュースがあります。

6月30日にもとのブロードウェイのアパートを引き払い、ハーバードスクエアから赤い線の地下鉄で一駅先のポータースクエア駅に程近いアパートに引っ越しました。今度のアパートはとても静かな住宅地のなかにあり、夕方に散歩するととてもすがすがしい気分になれるところです。またすぐ近くに寿屋という日本のスーパーや日本食堂が入ったビルがあり、また地下鉄の駅へも歩いてわずか五分ほど、とても便利なところです。部屋はやや手狭ですが、理英子がハーバード大学の夏季講習に通うためにどうしても九月初めまでここにいる必要があるために借りたのです。ところが7月初めに夏季講習が始まってまもなく体調がわるいというので家内をハーバードの健康管理センターにつれていったところ、妊娠していると判明しました。予定日は来年3月10日前後だそうです。さっそくひどい悪阻が始まり、夏季講習どころではなくなっていました。まあこれからどうなるかわかりませんが、家内の健康を第一に考えて日本へ無事帰国したいと思います。

日本はあつい夏が始まっていると思います。こちらはかなり涼しい夏で、冷房もいまのところあまり必要ではありません。

皆様のご健康をはるかにニューイングランドからお祈り申し上げます。

(野村亨)



上：鎌倉鶴岡八幡宮での初詣、2001年1月5日
下：生後まもなくの武史、体重3100グラム

